

中学校における部活動の方向性について

1 中学校における部活動の現状と課題

- (1) 現状
 - ア 中学生の人格形成に大きな影響を与えている。
 - イ 生徒数の減少等により、学校単位での部活動運営が困難な状況である。
 - ウ 中学生の活動が多様化している。
 - エ 学校部活動だけで、中学生のニーズに応えることが困難な状況にある。

- (2) 課題
 - ア 中学校における「自主的・自発的な参加により行われる部活動」の推進
 - イ 中学生の多様なニーズに応えるための指導者及び活動場所の確保
 - ウ 指導者の適切な指導の推進

2 「いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから」（提言）策定の経緯

- (1) 令和元年度
 - ア 県内抽出43校の生徒、教員、保護者を対象に実態把握のためのアンケート調査
- (2) 令和2年度
 - ア 有識者会議及びプロジェクトチーム会議の設置・会議による検討
 - イ 県外視察（新潟県燕市）
 - ウ 提言完成 ※ 配布資料
- (3) 令和3年度
 - ア 公表（5/17 岩手県総合教育会議、5/18 記者発表）
 - イ 周知（関係機関への通知、保健体育課HPへの掲載、諸会議等における説明 等）

3 提言の内容

- (1) 提言の趣旨
 - ア 部活動の教育的意義を認識しつつ、中学生本位の有意義な活動の在り方の方向性を整理
 - イ 文部科学省の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」の動きも見据えながら検討
 - ウ 「望ましい活動・環境の姿」の実現に向け、中学生の活動を支える各主体に求められる役割・取組を提言としてまとめた
- (2) 望ましい活動及び環境の姿
 - ア 自主的・自発的に活動し、中学生による活動の運営等、目標に向かって充実した取組の実践
 - イ 学校・地域・関係団体等による環境整備や体制構築が進み、中学生が希望する活動を支える
 - ウ 指導者と中学生のコミュニケーションが十分に図られ、生涯を通じてスポーツ・文化活動に親しむ基礎を培う。
- (3) 中学生の活動を支える各主体に求められる役割・取組
 - 「短期的に取り組むこと」「継続して検討しながら中長期的に取り組むこと」に分類

4 提言を踏まえた取組（県、県教育委員会）

- (1) 県
 - 地域部活動への移行について、競技団体や総合型地域スポーツクラブ、文化芸術団体等各団体への周知を図り、「学校外の受け入れ体制の整備」を促す。
- (2) 県教育委員会
 - 市町村教育委員会等と連携し活動状況等の実態把握に努め、方針や制度等を整備するなど、多様な「学校における部活動」を支える。
- (3) 連携した取組
 - ア 情報収集及び共有
 - イ プロジェクトチームによる企画等
 - ウ 連携内容
 - ・ 「地域運動部活動推進事業」 ※令和3年度・令和4年度実施
 - ・ 指導者の資質向上

5 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について

- (1) 部活動改革の考え方
 - ア 教師の負担軽減を実現できる内容
 - イ 休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築すべき
 - ウ 生徒の希望に応えるため、休日において部活動を地域の活動として実施できる環境を整備
- (2) 具体的な方策
 - ア 「休日の部活動の段階的な地域移行」について
 - イ 合理的で効率的な部活動の推進

『いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから』(提言)を踏まえた取組

(提言)『いわての中学生スポーツ・文化活動のこれから』 岩手県「中学生スポーツ・文化活動に係る研究」有識者会議 令和3年3月策定

- 〈提言の趣旨〉
- 岩手県中学生の将来の「望ましいスポーツ及び文化活動・環境の姿」の実現に向けた各主体(市町村・市町村教育委員会、学校、関係団体、指導者)に求められる役割・取組を明らかにしたこと。
 - 各主体が、共に中学生の健全な成長のためのパートナーという考えに立ち、取り組むことにより、いわての中学生それぞれの興味・関心に応じた多様な活動を保障することが期待できるとしたこと。
- 〈望ましい活動・環境の姿〉
- 自主的・自発的に活動し、中学生による活動の運営等、目標に向かって充実した取組を実践している。
 - 学校・地域・関係団体等による環境整備や体制構築が進み、中学生が希望する活動を支えている。
 - 指導者と中学生のコミュニケーションが十分に図られ、生涯を通じてスポーツ・文化活動に親しむ基礎を培うことができる。

〈各主体に求められる主な取組〉

《市町村・市町村教育委員会》

- 設置者の方針改定
- 部活動指導員の積極的任用
- 合同(拠点校)部活動の検討・推進
- 受け入れ体制の検討
- 市町村単位の大会検討

《学校》

- 自主的・自発的部活動の推進と徹底
- 保護者負担の現状把握と軽減に向けた検討
- 地域と連携した活動の実施

《関係団体》

- 大会等の柔軟な運用(合同チーム、参加基準、学校単位によらない活動)
- トップを目指す活動環境の確保と充実
- 受け入れ体制の検討と構築
- 地域活動の情報発信

《指導者》

- 適切な指導の実施
- 研修等の積極的参加
- 合同(拠点校)部活動等の指導

《国の新たな取組》

『学校の働き方改革を踏まえた部活動改革』

(R5年度以降実施)

【改革の方向性】

- 部活動改革の第一歩として、「休日に教師が部活動に携わる必要がない環境」を構築する。
- 生徒の希望に応えるため、「休日において部活動を地域の活動として実施できる環境」を整える。

【具体的な方策】

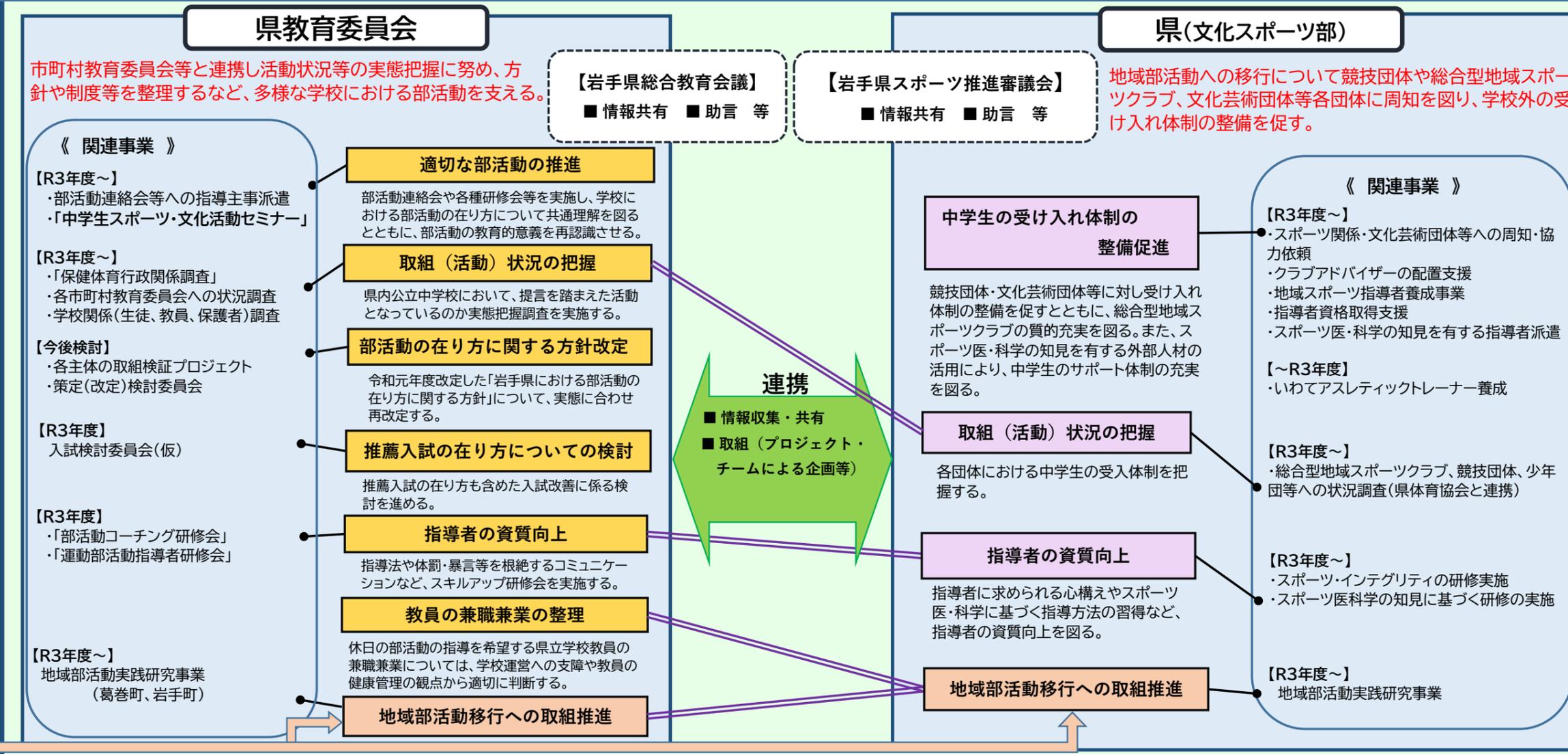
- 「休日の部活動の段階的な地域移行」+「休日の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しない」と
- 合理的で効率的な部活動の推進
 - ・他校との合同部活動の推進
 - ・大会・コンクールの在り方の整理

【地域運動部活動推進事業】 (スポーツ庁委託事業)

- 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究

- 中学生の多様な活動の実現に向けた取組
- 学校の部活動に所属し活動する
 - 複数校による合同部活動等で活動する
 - 文化芸術団体、民間の教室等に所属し文化活動に打ち込む
 - 競技団体、民間のクラブ等に所属しスポーツ活動に打ち込む
 - 世界や全国のトップでの活躍を目指す
 - 総合型地域スポーツクラブ等に参加し活動を行う
- 中学生の多様な活動の実現に向けて各主体と連携

《提言》を踏まえた取組



市町村教育委員会等と連携し活動状況等の実態把握に努め、方針や制度等を整理するなど、多様な学校における部活動を支える。

【岩手県総合教育会議】
■ 情報共有 ■ 助言 等

【岩手県スポーツ推進審議会】
■ 情報共有 ■ 助言 等

地域部活動への移行について競技団体や総合型地域スポーツクラブ、文化芸術団体等各団体に周知を図り、学校外の受け入れ体制の整備を促す。

《関連事業》

- 【R3年度~】
- ・部活動連絡会等への指導主事派遣
- ・「中学生スポーツ・文化活動セミナー」

- 【R3年度~】
- ・「保健体育行政関係調査」
- ・各市町村教育委員会への状況調査
- ・学校関係(生徒、教員、保護者)調査

- 【今後検討】
- ・各主体の取組検証プロジェクト
- ・策定(改定)検討委員会

- 【R3年度】
- 入試検討委員会(仮)

- 【R3年度】
- ・「部活動コーチング研修会」
- ・「運動部活動指導者研修会」

- 【R3年度~】
- 地域部活動実践研究事業
(葛巻町、岩手町)

適切な部活動の推進

部活動連絡会や各種研修会等を実施し、学校における部活動の在り方について共通理解を図るとともに、部活動の教育的意義を再認識させる。

取組(活動)状況の把握

県内公立中学校において、提言を踏まえた活動となっているのか実態把握調査を実施する。

部活動の在り方に関する方針改定

令和元年度改定した「岩手県における部活動の在り方に関する方針」について、実態に合わせ再改定する。

推薦入試の在り方についての検討

推薦入試の在り方も含めた入試改善に係る検討を進める。

指導者の資質向上

指導法や体罰・暴言等を根絶するコミュニケーションなど、スキルアップ研修会を実施する。

教員の兼職兼業の整理

休日の部活動の指導を希望する県立学校教員の兼職兼業については、学校運営への支障や教員の健康管理の観点から適切に判断する。

地域部活動移行への取組推進

連携

- 情報収集・共有
- 取組(プロジェクト・チームによる企画等)

中学生の受け入れ体制の整備促進

競技団体・文化芸術団体等に対し受け入れ体制の整備を促すとともに、総合型地域スポーツクラブの質的充実を図る。また、スポーツ医・科学の知見を有する外部人材の活用により、中学生のサポート体制の充実を図る。

取組(活動)状況の把握

各団体における中学生の受入体制を把握する。

指導者の資質向上

指導者に求められる心構えやスポーツ医・科学に基づく指導方法の習得など、指導者の資質向上を図る。

地域部活動移行への取組推進

《関連事業》

- 【R3年度~】
- ・スポーツ関係・文化芸術団体等への周知・協力依頼
- ・クラブアドバイザーの配置支援
- ・地域スポーツ指導者養成事業
- ・指導者資格取得支援
- ・スポーツ医・科学の知見を有する指導者派遣

- 【~R3年度】
- ・いわてアスレティックトレーナー養成

- 【R3年度~】
- ・総合型地域スポーツクラブ、競技団体、少年団等への状況調査(県体育協会と連携)

- 【R3年度~】
- ・スポーツ・インテグリティの研修実施
- ・スポーツ医科学の知見に基づく研修の実施

- 【R3年度~】
- 地域部活動実践研究事業